

群馬の土地改良

No.243 平成29年11月1日



第40回全国土地改良大会（静岡大会）

平成29年10月25日(水)、静岡県沼津市「ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ」において、第40回全国土地改良大会（静岡大会）が開催されました。

大会テーマ「“ふじのくに”で語ろう土地改良が創る豊かな水土里を」のもと「農業・農村の重要性」と、それを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールする場となりました。

全国の関係者が国民の財産である農業・農村を次世代に健全な姿で引き継ぐ決意を新たに開催された今大会には4,200名を超える土地改良関係者が参加し、静岡県土連の伊東会長の歓迎の挨拶で幕を開けました。

本会からは、土地改良区及び本会役職員等136名が参加し、土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名が表彰され、本県から邑楽土地改良区前理事長 小野様が農林水産省農村振興局長表彰に、高崎西部土地改良区理事長 藤巻様が全国土地改良事業団体連合会長表彰の栄誉を賜りました。

引き続き、農林水産省農村振興局室本次長の基調講演があり、その後、静岡県の優良事例が農業生産法人 遠州森 鈴木農園株式会社 鈴木会長、清水農業協同組合 柴田代表理事組合長の2名から紹介がありました。

また、大会宣言が東部稲作研究会会長・JA御殿場青壮年部 横山委員長によって力強く行われ、その後、大会旗が来年度開催される宮城県土連の亀谷副会長に引き継がれました。

翌日は、箱根西麓地域（畑地帯の基礎整備事業）の事業視察を行いました。

平成30年度 群馬県当初予算に対する政調懇談会及び県への要望活動

平成30年度の群馬県当初予算編成にあたり、平成29年10月4日(水)、群馬県当初予算に対する政調懇談会が開催されました。

本会から熊川会長、栗林副会長をはじめ、若田部常務理事と幹部職員、各地域の土地改良事業推進協議会関係者が出席し、農業農村整備事業の推進への理解とより一層の支援を要望しました。

その後、群馬県 澁谷農政部長並びに中島県土整備部長等に対して、要望事項を説明し、要望書を手渡しました。

政調懇談会(環境農林部会)への要望事項

- 1 農業生産力強化に向けた農業基盤整備の推進について
- 2 農業水利施設の保全と管理に対する支援について
- 3 ため池の防災、減災対策の推進について
- 4 多面的機能支払交付金の活動推進について
- 5 再生可能エネルギーの推進について
- 6 県単公共事業の推進について
- 7 国土調査の推進について
- 8 農地中間管理事業への参画について

政調懇談会(産経土木部会)への要望事項

- 1 農業集落排水施設の改築・更新事業の計画的・継続的な実施について
- 2 農業集落排水施設の既存施設の更新計画策定等について



平成29年度 土地改良区体制強化事業複式簿記促進研修会

平成29年8月31日(木)、前橋テルサにおいて、「平成29年度土地改良区体制強化事業複式簿記促進研修会」を開催しました。

はじめに、群馬県農政部農村整備課 内藤水利保全対策主監から挨拶をいただき、研修に移りました。

研修会は、土地改良区及び県職員、67名が参加し、熱心に耳を傾けていました。



研修内容	講師
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記会計を導入する際の準備(検査指導基準、会計基準) ・会計制度、複数簿記の基本について 	全国水土里ネット 中央換地センター 参与 田村 栄二 様
<ul style="list-style-type: none"> ・資産評価と減価償却 	全国水土里ネット 管理システム研究部 主査 田中 克哉 様

群馬県土地改良施設管理運営体制強化委員会

平成29年7月4日(火)、本会において、土地改良施設管理運営体制強化委員会が開催されました。

本委員会は、土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）に基づき設置され、土地改良施設の円滑かつ適正な管理及び事業運営の透明化やガバナンスの強化を図ることを目的としています。

委員会は、本会若田部常務理事、関東農政局農村振興部 和山土地改良管理課長、群馬県農政部 片山農村整備課長が挨拶の後、協議が行われました。



◆協議事項◆

- 1) 平成28年度土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）業務実施報告について
- 2) 平成29年度土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）業務実施計画について

群馬県受益農地管理強化委員会

平成29年7月4日(火)、本会において、受益農地管理強化委員会が開催されました。

本委員会は土地改良区体制強化事業（受益農地管理強化対策）に基づき設置され、群馬県における換地業務の実施に支障が生じうる地区において、円滑かつ適正な換地処分を図ることを目的としています。

委員会は、関東農政局農村振興部 和山土地改良管理課長、群馬県農政部 片山農村整備課長が挨拶の後、本会若田部常務理事が議長となり、協議が行われました。



◆協議事項◆

- 1) 平成28年度事業実施報告について
- 2) 平成29年度事業実施計画について

平成29年度 換地技術向上研修

平成29年7月27日(木)～28日(金)、本会において、県及び市町村並びに土地改良区等の職員27名の参加のもと、平成29年度 換地技術向上研修が開催されました。

参加者は新規担当者が大半を占めており、土地改良法や換地理論等の講義を受け、換地選定実務では、モデル地区換地選定図に換地を割り込む作業を行い、換地計画書作成実務では、換地計画書を作成し、換地清算金算出するなど、複雑な計算に熱心に取り組んでいました。

また、本会の調査・換地課職員が講師をつとめました。



1日目

研修内容	講師
土地改良法と基礎調査	技術指導監 丸橋 昇
換地理論	補佐 内山 剛直
換地設計基準と土地評価	係長 櫻井 克弘
換地選定実務	係長 阿久澤 憲司

2日目

研修内容	講師
交換分合実務研修	係長 佐野 明史
確定測量について	係長 金子 祐一郎
換地計画書作成実務 代位登記作成実務	課長 吉澤 茂

利根川水系農業水利協議会 群馬県支部委員会 並びに第19回通常総会

平成29年7月25日(火)、高崎市「ニューサンピア」において、会員並びに関係者18名の出席のもと、群馬県支部委員会が開催されました。

開会にあたり、群馬県支部木村副会長、群馬県農政部 片山農村整備課長から挨拶をいただきました。

その後、通常総会提出議案について審議され、原案のとおり承認されました。

委員会終了後、第19回通常総会が、会員並びに関係者43名の出席のもと開催されました。



議事に先立ち、木村副会長、片山農村整備課長から挨拶をいただくとともに、顧問・来賓の紹介が行われました。その後、木村副会長が議長となり、議事が進められ、いずれも原案のとおり可決決定されました。

また、議事終了後、情報連絡として、「農業用水を取り巻く状況について」群馬県農政部農村整備課 企画係 永井主幹から説明があり、通常総会は閉会となりました。

◆議 事◆

- 第1号議案 平成28年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成28年度収入支出決算の承認について
- 第3号議案 平成29年度事業計画について
- 第4号議案 平成29年度会費及び徴収方法について
- 第5号議案 平成29年度収入支出予算について

群馬県農業集落排水事業連絡協議会 第27回通常総会並びに研修会



平成29年7月21日(金)、高崎市「ニューサンピア」において、会員並びに関係者46名の出席のもと、第27回通常総会が開催されました。

開会にあたり、山本会長代理として前橋市 遠藤農村整備課長、群馬県県土整備部下水環境課 松井調整主監から挨拶をいただきました。

その後、議案に基づき審議され、すべて原案のとおり可決決定されました。

また、通常総会終了後、群馬県県土整備部下水環境課 吉井係長、地域資源環境センター 佐藤技術監を講師に招き「農業集落排水事業の概要について」、「農業集落排水事業の概要と今後の施策について」の研修を行いました。

◆議 事◆

- 第1号議案 平成28年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成28年度決算報告の承認について
- 第3号議案 平成29年度事業計画について
- 第4号議案 会費の負担基準及び納入方法について
- 第5号議案 平成29年度収入支出予算について
- 第6号議案 役員の改選について

絵画コンクール表彰式

平成29年10月28日(土)、高崎市「イオンモール高崎」において、平成29年度農業集落排水に関する絵画コンクールの表彰式が行われました。

広報活動の一環として、農村地域の環境保全と農業集落排水事業の啓発・普及を目的に農村地域における「水と緑を取り巻く環境」を題材に、絵画コンクールを実施しました。

応募作品200点の中から、最優秀賞をはじめとした6賞の表彰を行いました。



☆最優秀賞【群馬県知事賞】

「ザリガニつりをしたよ」

伊勢崎市立殖蓮小学校 5年 重田里麻さん

平成29年度「第1回監事会及び監査」

平成29年6月19日(月)、本会において、平成29年度「第1回監事会及び監査」を開催しました。

監査は下記のとおり行われました。

(1) 平成28年度業務に関する事項について

(2) 平成28年度会計経理に関する事項について

監査では、藤巻代表監事から「調査・確認、協議をした結果、諸帳簿など特に問題はなく、概ね良好と認め、業務執行にあたっては、今後とも細心の注意を払うとともに、会員からの信頼のおける連合会であってほしい」との監査結果報告がありました。



平成29年度「第1回理事会」



平成29年7月27日(木)、本会において第1回理事会を開催しました。

熊川会長の挨拶に続き、群馬県農政部 片山農村整備課長から挨拶をいただきました。

理事会は、理事10名、監事3名、県1名の出席のもと行われ、すべて原案のとおり議決されました。

第6号議案で議決された、全国土地改良大会については、2020年の東京オリンピックと同じ年に開催を目指しています。

なお、議決された旨を全国水土里ネットに報告しました。

◆議 事◆

- 議案第1号 平成28年度事業報告の承認について
- 議案第2号 平成28年度収支計算書の承認について
- 議案第3号 平成28年度財産目録の承認について
- 議案第4号 平成29年度収入支出補正予算について
- 議案第5号 群馬県土地改良事業団体連合会 館林支部支部長の委嘱について
- 議案第6号 第43回全国土地改良大会（群馬大会）の開催について

「水土里ネット広報女性部会」発足

平成29年6月27日(火)、砂防会館(東京都)において、「水土里ネット広報女性部会 第1回総会」が開催されました。農業農村整備広報会議の活動の一環として、都道府県水土里ネット女性職員のネットワーク化を行い、情報交換や連携の強化を図り、土地改良分野における女性の発想力や能力を活かした広報活動を推進することを目的に、本年度より会員74名でスタートしました。

総会では、全国水土里ネット小林専務理事の挨拶の後、議事に移り会則の設定及び会長・副会長の選任が行われました。続いて、先進的に女性部会の活動を行っている水土里ネット山口の篠原様、水土里ネット千葉の箕箸様、日本のひなた水土里ネット女子会(水土里ネット宮崎)の田丸様より設立の経緯や活動状況の報告など

の説明がありました。

最後に、全国水土里ネット長山企画研究部長より部会の活動計画として、先進地への現地視察や平成31年度を目安に各都道府県での水土里ネット女性部会の立ち上げを目標としたいとの話がありました。

会議終了後、自民党の女性局次長も務めている全国水土里ネット会長会議顧問進藤参議院議員の事務所を訪れ、会の発足を報告しました。

◆役員◆(敬称略)

会長	箕箸 美雪	(水土里ネット千葉)
副会長	萩原 丈巳	(水土里ネット山梨)
副会長	荒木 美子	(水土里ネット岡山)



「ぐんま水土里ネット女性の会(仮称)」設立に向けての意見交換会

平成29年8月10日(木)本会において、「ぐんま水土里ネット女性の会(仮称)」設立に向けての意見交換会が開催され、群馬県農政部 片山農村整備課長から挨拶をいただきました。その後、本会若田部常務理事が座長となり、意見交換に移りました。はじめに、全国及び他県の女性組織の取り組みについて説明した後、意見交換では、「まだ女性は少数派なのでこのような機会を作って意見交換が出来たらと思う。」「全国大会や会議等に女性が出てきやすくなる体制を整えて欲しい。」「男女共同参画について、社会全体で女性も働いて欲しいという動きがあるが、家庭の中でも平等なのか。社会が変わって、家庭も変

わっていけたら良いと思う。」などの意見がありました。最後に本会若田部常務理事より、前向きに検討したいとの話がありました。



21世紀土地改良区創造運動表彰大賞受賞地区 現地視察

平成29年9月15日(金)、「21世紀土地改良区創造運動表彰大賞受賞地区 現地視察」が開催されました。現地視察は、平成18年度に大賞を受賞した、長野堰土地改良区に有識者の委員と、全国水土里ネットがフォローアップ調査として訪れました。はじめに、「長野堰頭首工」「明治時代のジオラマ」「円筒分水堰」の現地を見学し、その後、長野堰土地改良区の事務所にて意見交換会が開催され、生源寺委員長、長野堰土地改良区 大山理事長から挨拶がありました。長野堰土地改良区 丸岡事務局長から、長野堰を語りつぐ会の活動紹介や今後の取り組みについて説明の後、委員の方々から「小学校への活動を精力的にやっていて、他の土地改良区の見本になると思う。」「現代の子どもは、SNS等で写真を見ただけで行った気分になってしまうが、実際に見ることは非常に大切。」「記録や関連資料を絶やさずに残していくこと（アーカイブ）が大事。」「小学生だけでなく、専門的な大学生にも目を向けてみると良い。」との意見がありました。

出席委員

所 属	氏 名	委員会の役職
福島大学 農学系教育研究組織準備室 教授	生源寺 眞一	委員長
東京大学 名誉教授 (一社)農業土木事業協会 会長	佐藤 洋平	委員
青森大学 副学長 教授 エッセイスト・ジャーナリスト	見城 美枝子	委員
NPO美しい田園21 顧問	太田 信介	委員
東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授	飯田 俊彰	委員
小山用水土地改良区(栃木県) 事務局長	石川 房代	委員



今後の予定

開催日時	主催者名	行事名	開催場所
11月7・8日	本会	平成29年度土地改良区等役職員研修会	ホテル木暮（渋川市）
11月15日	全国土地改良事業団体連合会	農業農村整備の集い及び要請活動	シェーンバツハ・サポー（東京都）
11月22日	本会	農業農村整備部会・研究会及び講演会	公社総合ビル（前橋市）
11月24日	本会	第3回理事会	本会
12月	本会	第2回監事会及び監査	本会



土地改良区の複式簿記 Q&A

平成23年度より土地改良区への複式簿記会計の導入が進められており、本県においても昨年度より土地改良区を対象とした研修を行っています。
そこで、これまでにアンケート等で寄せられた質問をQ&A形式で掲載していきます。

Q1. 今、なぜ土地改良区において複式簿記方式を導入する必要があるか。

A1. 現行の単式簿記方式による会計処理は、現金以外の財務（資産・負債）の情報が蓄積されず、複式簿記方式による会計処理と比較し、土地改良区の財務状況を把握しにくい、記帳のミスや不正の発見が困難、施設管理に係る正確なコストが把握できない等があります。

このようなことを踏まえて、国は土地改良法における土地改良区の性格・事業実績・会計状況、土地改良事業の仕組みを踏まえ、土地改良区においても、財政状況をより一層明らかにすることを目的として、複式簿記方式による会計の普及の推進を図ることとしました。

Q2. 複式簿記方式の導入により期待できる効果について。

A2. 土地改良区の複式簿記方式による会計では、財政状況を表すものとして「貸借対照表」、運営状況を表すものとして「正味財産増減計算書」を作成することから、次のような効果が期待できます。

- ①複式簿記方式導入に伴う発生主義の採用により、現金の収支にかかわらず、取引の全てにおいて仕訳がされ、資金管理と財産管理が一体的に行われ、財産の増減状況を的確に把握することが可能になります。
- ②固定資産の減価償却等を行うことにより、正確なコストが把握でき、運営状況を的確に把握することが可能になります。
- ③仕訳により取引の「原因」及び「結果」が記録され、記帳ミスや不正の発見が容易になります。

水土里ネット群馬

群馬県土地改良事業団体連合会
URL: <http://www.kakasi.or.jp/>

本 所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4
TEL 027-251-4105 fax 027-251-4139

中西部事業所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4
TEL 027-251-4106 fax 027-251-4222

利根・吾妻事業所 〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1
TEL 0278-23-2161 fax 0278-23-2180

東 部 事 業 所 〒370-0392 群馬県太田市新田金井町29
(新田庁舎内)
TEL 0276-55-6185 fax 0276-55-6186



夢ふくらまそう・未来はぐくもう
ぐんまの農業農村整備